

事務事業名	斐伊小学校特別支援学級改修事業		所属部	子ども政策局	所属課	子ども家庭支援課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	子ども家庭支援G	課長名 白築 香
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	野々村 悟史	電話番号:0854-40-1067 (内線):2262
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈078〉困難さを抱える児童生徒への支援の充実		予算科目	0:150:0:2	大事業名 小学校教育振興事業
目的・対象	児童・生徒	意図	個に応じた教育・支援を受ける。			中事業名 小学校特別支援学級設置事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
特別支援学級に通学する児童	児童生徒が入級する障がい種の特別支援学級の教室に必要な設備を整備することで、一人ひとりに応じた適切な支援を受けることができる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)	特別支援学級の施設改修工事
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
令和5年度に特別支援学級を設置予定の学校で教室の設備等が必要な学校電改修工事。	障がいに応じた環境整備が図られ適切な環境で教育が受けられている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 18歳までの子どもの数	人			4,969	
イ 子育て支援に関する行政サービスが整っていると感じる保護者の割合	%			79.2	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
設計委託料 1,298千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
改修工事費 5,991千円(建築)		県支出金	千円			
3,465千円(機械設備)		地方債	千円			10,200
162千円(備品)		その他	千円			
(地方債)合併特例債		一般財源	千円			716
	事業費計	千円	0	0	10,916	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	教室として整備することで特別支援学級へ就学する児童生徒が一人ひとりに応じた適切な教育を受けることができる。
② 事業実施するうえでの課題	学級新設が確立する時期が年度によっては遅くなることがあり、今回のような規模の大きい工事は日程的に厳しくなる。今回も卒業式等のイベントが工期と重なりスケジュールの設定が困難であった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	新設が見込まれる学校については早めに対応をとった。